



岩沼市マスコットキャラクター
岩沼係長

質問受付中!

みちばた 道端で石碑に遭遇…

みなさんは、神社やお寺の境内や道の傍らにひっそりと佇む石碑を見たことがありますか。岩沼市の石碑の多くは、江戸時代になってから地域に住んでいた人々によって造られたものです。石碑は、人々の精神や風習を知るためには欠かせない貴重な地域の財産です。

岩沼の石碑を紹介!

岩沼で一番多い石碑

かつての岩沼では馬市が開かれていました。

その1 馬頭観世音碑



桜一丁目・竹駒寺

馬頭観音は、馬の頭を乗せた観音様です。農業に欠かせない馬の守護神として、人々に信仰され、愛馬の息災や安全、そして死亡した愛馬の冥福を祈るための墓標として、たくさん造られました。

その2 山神碑



中央4丁目

山で仕事をする人々を守るほか、春になると里に降りてきて田の神になると信じられていました。市内にある山神碑は遠田郡美里町にある山神社を祀ったものが多いです。

その3 庚申塔



小川・貴船神社

庚申信仰を信じる人々によって造られた供養塔です。
※庚申信仰…人の体内にいる虫(三尸)が庚申の日に抜けだし帝に悪行を知らせ、寿命を縮めてしまうとされ、庚申の日は虫が寝ている間に外に出ないように一日中眠ってはいけないとされた。

その4 名号碑



北長谷・長谷寺

阿彌陀仏を信じ、身をささげるという意味をあらわす「南無阿彌陀仏」の文字を彫った石碑。
特に、阿彌陀仏を本尊とする宗派の人々に重んじられました。

その5 三山碑



下野郷・岩誓寺

山形県にある出羽三山(月山、羽黒山、湯殿山)では古くから仏教の修行が行われていましたが、江戸時代に広く一般の人々にも信仰が普及し、石碑が造られました。